

質問事項の回答(案件名:オフライン多言語翻訳機(携帯型))

項番	仕様書等の該当箇所	照会事項	回答	回答日
1	仕様書 7. 製品及びサービスに係る規格等 (15) 翻訳したデータ(音声及びテキスト)の消去機能を備えていること。オフライン翻訳画面からホーム画面に遷移する際に、翻訳データを自動消去することが可能であること。	システムの仕様上「自動消去」ではなく、利用者が画面上の「履歴クリアボタン」等を押下することで容易に一括消去できる仕様(手動消去)でも要件を満たすものとして認めていただけますでしょうか。	当該業務においては、個人情報保護の観点から「自動消去」を必須としています。	4月23日
2	仕様書 7. 製品及びサービスに係る規格等 (3) 常時オフラインの状態で使用するため、データ通信simやWi-Fiの機能制限等によりネットワーク通信が使用不可能な状態であること。(スイッチ等のオン/オフ切り替えによりネットワーク通信に接続可能な状態は不可とする。)	こちらはハードウェア的に通信モジュールが搭載されていない(または物理的に除去されている)必要があるということでしょうか。あるいは、MDM(モバイルデバイス管理)ツール等のシステム制御により、利用者が設定画面を開けず、実質的にネットワーク通信への切り替えが不可能な状態(キオスクモード等)に設定されていれば要件を満たしますでしょうか。	ご認識の通り、利用者が設定画面を開けず、実質的にネットワーク通信への切り替えが不可能な状態(キオスクモード等)に設定されていれば要件を満たします。	4月23日
3	仕様書 7. 製品及びサービスに係る規格等 (16) 音声翻訳は、以下の言語を必ず含めた15言語以上が対応言語であること。英語、中国語(簡体字)、アラビア語、ベトナム語、ポルトガル語、インドネシア語、ヒンディー語	オフライン環境での翻訳精度を担保する観点から、上記指定言語のうち一部の言語(例:ヒンディー語やアラビア語など)について、オフラインでの対応が困難な場合、指定言語数を満たした上で他の言語での代替提案を行うことは可能でしょうか。	英語、中国語(簡体字)、アラビア語、ベトナム語、ポルトガル語、インドネシア語及びヒンディー語は、業務を行う上で必要不可欠となるため、代替提案は認めていません。	4月23日